

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄			
								評価	人数	コメント	
学 校 別 力 目 ・ 標 教 4 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	学校力・教師力の向上に関する児童アンケートと保護者アンケートにおいて、肯定的な表現の合計の割合について、以下の通り評価する。	4:	各設問の肯定的回答は以下の通りである。 (児童) 授業が分かる 91% (保護者) 分かりやすい授業の実施 88%	4	3	100周年に向けた取り組み、とても素晴らしかったです。この100周年を学習面と同時進行で行事をこなしこどもたちの成長に繋げたのはおみごとでした。 今、オリンピックでも金メダルを取って喜んでいる選手も家族やコーチや多くの協力者がいなければ取れなかったと思います。100周年でも多くの友人、人々が力を合わせてできたと感じてほしい。 昨年の100周年の式典は感動しました。児童の行動、態度素晴らしかったです。	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	どちらとも85%以上であれば「4」	3:	4	【これまでの取組】 本校においては、児童一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善として、丁寧な机間支援、適切な対話活動の導入に、各学級で取り組んでいる。 また、新教科「おたの未来づくり」の実施が行われ、地域教材を活用した課題発見・探究学習の実施や、児童の言語能力に関する課題改善に向けた校内研究授業を実施している。 開校100周年に向けた様々な取組を組織的に行い、成功させ子どもも保護者の満足度が高かった。	3		4
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		どちらか一方が85%以上であれば「3」						
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		どちらとも70%以上85%未満であれば「2」						
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③周年に向けて行事を見直し、組織的に対応している。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。	3	どちらとも85%未満であり、一方が70%未満であれば「1」	2:	2	【改善点】 令和8年度に向けて、組織の改編を行い、様々な事がらを組織的に対応し消えるようにした。	2		0
			3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。								
			1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。								
					1:		1	0			

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
た自個 め分別 のら目 学し標 びく5 をい支 援いき しきと 生きる	困難のある児童・ 生徒一人ひとりの 状況にあわせて 教育環境を整 えるとともに、相 談機能の充実を 図ることで、すべ ての児童が自分 らしくいきいきと 生きるための学 びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向 けて、教員の資質・能力の向上や校内にお ける支援体制の充実、特別支援教室巡回 指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	2	4:	3	各設問の肯定的回答は以下の通りで ある。 (児童) 困ったときの相談 78% (保護者) 児童理解の充実 91% 【これまでの取組】 本校においては、特別支援、いじめ対 策、不適応対策の委員会を定期的に 開催し、組織的対応を継続している。 一方で、児童の自尊感情の涵養や、 他者を尊重する気持ちの育成などの 指導を行っている。結果としていじめ 問題や不登校の未然防止につながる 取組を行っている。 【改善点】 学級満足度調査(WEBQU)につい ての研修を行い、児童が居心地のよい 学級づくりをしていく。	4	1	困ったときに相談できる人や 環境があることは親やこどもに とって大きいと思います。 多種多様な家庭環境で育っ たこどもは多種多様で対応に 難しいこともたくさんあると思 うが、その時最善と思われるこ とをすればと思う。 成果評価が4になるとよいで すね。各家庭生活や環境等の 違いがあるので大変だと思 います。 児童の行動の変化を見抜き 早い段階での対応を願いま す。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。	4	3:	どちらも85%以上 であれば「4」 どちらか一方が 85%以上であれば 「3」 どちらも70%以上 85%未満であれば 「2」 どちらも85%未 満であり、一方が 70%未満であれば 「1」			3	6	
		3:80%以上100%未満の教員が回答した。								
		2:60%以上80%未満の教員が回答した。								
		1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③スクールカウンセラーやスクールソ シヤルワーカーとの連携等、児童・生徒・保 護者が相談しやすい環境を整備し、一人 ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばす ことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	2:			0		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
					1:	0				

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄				
								評価	人数	コメント		
安柔個 心軟別 なで目 教創標 育造6 環的 境な学 つ習く 空り間 ますと 安全・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境に関する児童アンケートと保護者アンケートにおいて、肯定的な表現の合計の割合について、以下の通り評価する。	4	各設問の肯定的回答は以下の通りである。 (児童) 身を守る学習 94% (保護者) 身を守る学習の充実 94%	4	3	地域で開催する防災訓練にも親子で積極的に参加していただけたら嬉しいです。 児童、保護者とも肯定的回答が高いので、学校の取り組みを評価しているようだ。今、情報を得るツールでネットが多いと思うがAIで作られた偽の情報があることも子どもたちに注意喚起が必要だと思う。 低学年には安全とは理解できない部分も多くあると思う。高学年や周りの大人が少しずつでも伝えたり行事を見せたりして覚えてもらえるかな？ 地震などいつ災害が起きるかわからない。避難訓練・安全指導が必要と思います。		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	どちらとも85%以上であれば「4」		3	どちらか一方が85%以上であれば「3」	【これまでの取組】 本校においては、避難訓練や安全指導の充実を図り、児童が真剣に活動に参加し、自分自身の身を守ることにについて考えさせる活動を継続している。また、タブレットの振り返りカードを作成し、児童に各学期1～2回の振り返りを実施した。児童の振り返りカードは保護者にも確認してもらい、学校と家庭の両方でタブレットの扱いについて児童に指導していける体制を整えた。		3	4
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
		③校内の美化に努め、児童が過ごしやすい環境に努めた。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	どちらとも70%以上85%未満であれば「2」		2	どちらとも85%未満であり、一方が70%未満であれば「1」	【改善点】 実践に基づいたアレルギー対応研修や危機対応の組織を見直していく。情報モラル教育の推進危機対応及び、タブレット端末の扱い方に関する取組をしていく。		2	0
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									
		④タブレットの入れ替え等を行うとともに、タブレットのルールの見直しを図った。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4			1				1	0
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
学地学個 校域校別 をコ・目 つミ家標 くユ庭フ りニ・ まテ地 すイ域 の核運 と携し て協働 による	地域コミュニティ の核としての学 校づくりや地域の 特色を生かした 学校づくりを進め るとともに、学校・ 家庭・地域が連携 ・協働して、地域 社会全体でこ どもたちを育成し ます。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	地域コミュニティの核としての学校づくりに関する保護者アンケート(複数の設問)において、肯定的な表現の合計の割合について、以下の通り評価する。	4:	各設問の肯定的回答は以下の通りである。(いずれも保護者) 地域と協化した取組 82.0% 情報発信 88% 【これまでの取組】 令和5年度からコミュニティ・スクールを導入し、学校運営協議会での熟議を経て、様々な活動を実施している。その一つが始業前の校庭開放であり、学区内町会が見守りを行っている。また、今年度は100周年を迎え、地域の方と協力した児童の学習活動だけではなく、学校と地域をつなぐフェスなども実施された。 PTAと連携を図り、学校行事の運営や校外の見守り活動に協力を得ている。地域からの要望でゲーム依存に関する講座を講師に本校してもらい実施した。 【改善点】 地域学校協働本部との連携をさらに深めたい。	4	1	地域でも子どもたちを見守っていきたく思います。 100周年の行事で学校の中にいつもの年以上に地域が入って一緒に学校運営ができたと思う。このまま次年度に続けていけたらと思う。学校公開の時にもっとたくさんの地域の方を誘いたい。 登校、下校時の声かけ、心がけています。学区内町会が協力し合い子どもたちを見守りたいと思います。
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		②校庭朝遊びや登下校の見守り活動などの、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	複数の設問の全てが85%以上であれば「4」 複数の設問のどちらか一方が85%以上であれば「3」 複数の設問のどちらも70%以上85%未満であれば「2」 複数の設問のどちらも85%未満であり、一方が70%未満であれば「1」	3:	3	6		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	2	複数の設問のどちらも85%未満であり、一方が70%未満であれば「1」	2:	2	0		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		④夏休みには地域の方の協力を得て、わくわくスルールや行事を行い、地域と共に健全育成に努めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	複数の設問のどちらも85%未満であり、一方が70%未満であれば「1」	1:	1	0		
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す